



より高度な臨床  
より深い研究  
より広い教育  
より積極的な保健活動

# 地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

## 共に診る・共に支える地域医療



診療参加型病院連携  
オーダリング・小児救急学習会にて

## JA秋田厚生連・平鹿総合病院

### もくじ

- 総長ご挨拶.....②
- 院長ご挨拶.....②
- 診療参加型病診連携について.....③
- 地域医療連携室からのお知らせ.....③
- 診療参加型病診連携にご協力くださる先生方.....④
- 紹介患者様受付場所.....④

病院住所／〒013-0042 横手市前郷字ハツ口3番1  
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200

[地域医療連携室連絡先]

- 地域医療連携室  
TEL／FAX 0182-32-0698
- HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

## 当院の地域医療連携における役割



平鹿総合病院  
総長

林 雅人

今年は雪の少ない冬で、暖かい日が続き桜の開花も早そうです。しかし3月末は寒さがぶり返し、政治の世界と同じくすぐには春が来ないなあと感じているこの頃です。

さて平鹿総合病院も4月1日新病院に移転して2年経過し、やっと新病院らしくなりましたがまだまだ不十分な点も多く診療所、病院の先生達に御迷惑をかけていることが少なくないのではないかと心配しています。

地域医療連携における当院の役割とは顔の見える医療連携に最も力を入れているつもりですので御意見宜しくお願いします。

お陰様で連携に関する事業実績では紹介患者数、逆紹介総数とも増加しており、オープンベッド利用状況も稼働率（同平均）84%利用いただいています。

検査の依頼件数はRI、CTは増加していますが、MRIがやや減少しています。当院はMRIが2台でまだ余裕があり紹介枠を広げましたのでどんどん利用してください。更にこれからの地域医療連携における当院の役割で重要な仕事に国の方針で2年前から始まっている四疾病については脳卒中、心筋梗塞について現在準備をしています。出来るだけ早い時期から始めて先生達と連携事業に入りたいと思っていますので宜しくお願いします。がんに関して

もがん拠点病院としての役割が充分果たせるよう準備しています。糖尿病についても同様に考えてますので宜しくお願いします。

当院として地域医療連携は最も大切な仕事として今後も頑張りますので宜しく御支援お願いします。

## 地域医療連携の推進 / 強化を目指して



平鹿総合病院  
院長

平山 克

ふと外を見ると、3月初旬にしては横手とは思えない程に雪の殆ど無い街並みが広がっており、まるで春本番のような穏やかな風景です。外来でも診察前の患者さんとの挨拶が「雪が少なくて毎日楽ですね〜」が定番になっていました。このまま春が到来するのでしょうか？かつての豪雪の横手はいずこへ……。

さて、地域の中核病院として横手の地域医療を中心的に担う当院にとって、地域医療連携への積極的な取り組みと推進が重要かつ不可欠な課題であることは言うまでもありませんが、今年は当院における病診連携の面で画期的な取り組みが始まります。

即ち、4月1日から、横手市医師会の先生方がweek dayの当直帯において毎日救急診療に参加する「診療参加型病診連携システム」が運用開始となります（18時～20時の2時間です）。

この事業に関してはいずれ詳しく紹介する機会があるかと思いますが、横手市医師会と当院が協同して、当院の夜間救急医療の充実と地域住民に対するさらに信頼される医療の提供を図ることを目的としたもの

です。

このシステムについては、横手市医師会の企画に基づいて昨年7月以来当院と医師会の間で実行案について検討を重ねて今回の実施に至ったものです。横手市医師会の先生達の地域医療に対する誠意が具現化したものであり、当院の医局の先生方の過重労働の軽減にも大きく貢献することが出来るものと考えております。

本システムの構築と維持を通して、医師会の先生方とのまさに“顔の見える”絆が深まって、横手地域における病診連携が大きく前進することを強く期待しています。

さらに、市民の皆様との連携につきましても、今年度において新しく設置された病院の広報委員会が中心となって、一般市民の皆様を対象とする新規の定期刊行の病院広報誌の発刊に向けた準備が進められておりますので、期待して頂きたいと思っております。

## 診療参加型病診連携について



横手市医師会  
会長

### 西成 忍

横手市医師会は、重点課題である診療参加型病診連携の一環として、4月1日（水）から平日の夜間（6時～8時）、平鹿総合病院に開業医会員が出向いて救急外来診療の手助けを行う事業を開始しました。

全国的な医師不足、特に勤務医不足は市内の3病院も例外ではなく、特に時間外救急医療現場での勤務医の疲弊はいわゆるコンビニ受診の増加もありギリギリの状態が続いており大きな問題になっています。この状況が続けば、勤務医の退職を助長し、診療科の閉鎖など、地域医療に重大な危機をもたらす結果につながりかねません。私たちは、多くの会員・非会員で構成され、この地域の救急医療・高度医療を担っている病院勤務医に対して地域医師会として可能な限りの援助を考えることが必要であると考えました。

当地区の時間外外来の対応は、市立大森病院の「夕暮れ診療」や市立横手病院の救急業務、開業医による日曜祭日当番医制など、平鹿総合病院以外でも行われておりますが、平鹿総合病院が新築移転してからは夜間救急の多くが平鹿総合病院に集中するようになりました。当初は3病院全てに対する応援態勢も考えましたが、市医理事会での検討結果、現在時間外患者さんが集中している平鹿総合病院にまず応援を出すことにしました。

この事業は多くの開業会員の協力によって可能になったことであり、勤務医不足を解消できるものではなく、あくまで緊急避難的なものですが、少しでも病院勤務医の負担を減らすことができれば今後の地域医療や病診連携に役立つものとして期待しています。加えて、設備やスタッフが限られているため、その「資力」を發揮できない開業会員も少なくありません。今後の診療参加型病診連携として、病院非常勤医師等の形で「手術」「検査」等への参加が可能かどうか各病院側と協議していきたいと思っております。同時に安易な時間外外来受診の減少に向けても行政とともに努力が必要と考えています。

## 地域医療連携室からのお知らせ

### — 診療参加型病診連携システムがスタート!! —

誰もが経験したことのない「高齢社会」を迎えようとしております。

「病気になるたらどうしよう」そんな時、地域住民の皆様には「いつでもどこでも良質な医療」を切れ間無く受けていただくため、当院は横手市医師会の先生方と連携し、日曜夜間小児救急医療・共同利用病床の運用等を行って参りました。この度、横手市医師会の先生方のご支援により、参加型病診連携システムを運用することになりました。

#### ※参加型病診連携システムとは？……………

横手市医師会の先生方と当院の医師が共同し、当院の夜間医療の充実と地域住民の皆様に対する安心・信頼される医療を提供するための仕組みです。

#### ※どのようにして診療を行うのですか？……………

診療開始時期 平成21年4月1日～

診療参加曜日 平日（土曜日、日曜日、祝祭日を除く）

診療参加時間 平日の18時～20時

診療参加医師 医師会の先生方25名の当番制

診療方法 医師会の先生1名が、当院の当直スタッフとして診療を行います。



#### ※当院からのお願い……………

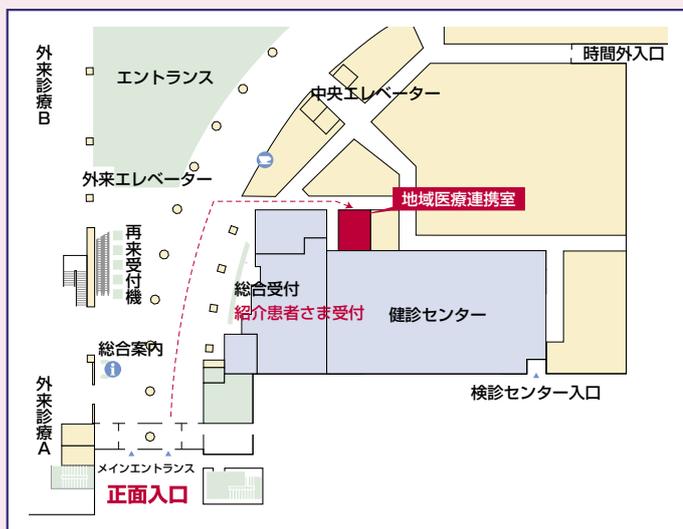
夜間救急は、検査や処方されるお薬が限られております。お急ぎでない場合は、平日の各科外来に受診くださいますようお願いいたします。

# 診療参加型病診連携にご協力くださる先生方

(敬称略)



● 7月以降、桃雲堂高橋医院高橋昭博先生が2ヶ月に1回(月曜日)の協力をして下さいます。



## 紹介患者さま受付と地域医療連携室設置場所

### スタッフ

室長 高橋 俊明  
副室長 齋藤 研  
医事課長 久米川 均  
看護師長 高山 国子  
事務 福田 靖子

スタッフ一同心を込めて対応いたしております。  
どうぞよろしくお願いいたします。